

令和4年度立山博物館運営委員会議事録要旨

- 1 日 時：令和4年8月25日（木） 午後1時52分から2時42分まで
- 2 場 所：立山博物館 教算坊
- 3 出席者
 - (1)委 員
木下委員(委員長)、伊藤委員、稲垣委員、岩嶺委員、小幡委員、佐伯(元信)委員、三宮委員、増田委員、六角委員
 - (2)博物館
立山博物館 岡田館長、島田副館長、奥澤学芸課長、鈴木副主幹、石崎主任
文化振興課 窪田課長補佐
(公益財団)富山県文化振興財団 廣田施設管理課長、毛利副主幹
- 4 委員長互選
互選により木下委員が委員長に決し、副委員長は委員長が佐伯(元信)委員を指名。
- 5 報告・審議事項
 - ・博物館の運営・活動状況について
 - ・今後の博物館の運営について
- 6 主な発言概要

(委員) まんだら遊苑はInstagramでの発信で人気が出ている。博物館のPRにメディア、ネットを活用すべき。国立西洋美術館などで3分解説動画をYouTubeで流している。まんだらの絵解きや布橋灌頂会やクタベなどの動画を考えてはどうか。

(委員) 国立立山青少年自然の家では職員の手作り動画「トントンちゃんねる」をYouTubeに流している。クタベなどのタイムリーなものや曼荼羅の絵や教算坊などのスポット動画が良いのではないかな。

(委員) 布橋の塗り直し途中で、下塗りで一時的に真っ白の橋になった。その時の写真などがあれば面白い。

まんだらの絵解きは学芸員それぞれが違いがあり面白い。細木学芸員の子供向けの絵解きなども良かった。

(委員) 立山博物館には建築家の目で見ると凄いなコンテンツが多く、ちゃんとした解説があれば良いのと思う。

(委員) PRのプッシュ型(客に直接的にアプローチする方法)、プル型(客のほうから企業に接触してくれるのを待つ方法)など考えてはどうか。看板、解説パネルにQRコードを付けて、興味のある人にはより詳しい説明のものにジャンプするのも良い。生涯学習の場での立博のPRや居酒屋で博物館の紹介サイトにアクセスできるQRコードを配置するようなのも面白いのではないかな。

(委員) トイレなどの施設の整備も必要。